

大学保存の法学関連論文

リンク機能整備

ウエストロー・ジャパン ウェブサービス拡充

ウエストロー・ジャパン（東京都千代田区、内田祥造社長、03・5210・1400）は同社の日本法総合オンラインサービス「ウエストロー・ジャパン」から、各大学が保存する法学関連論文につながるリンク機能を整備した。北海道大学、名古屋大学、九州大学それぞれの論文貯蔵庫であるリポジトリと、国立情報学研究所（NII）の論文データベース（DB）につながる。ほかの法学系論文をリポジトリで持つ約30大学にもリンク化を呼びかけている。

ウエストロー・ジャパンのオンラインサービスの売りの一つが、法令・判例DBで、判例文の要旨「評釈」をコンテンツとして持つ。この一つ

ウェブでクリックすると、各大学のリポジトリで保存・公開している論文に直接、リンクして読める仕組みだ。

3大学で合計約500件に上る学術論文に判例からアクセスできるため、法学研究者の利便性が高まる。同様に国立情報学研究所が全分野でカバーする論文情報ナビゲータ、Cinii（サイニ）のうち、法学関連

論文約1000件ともつながるようになった。リポジトリは各大学が所属研究者の業績をサーバに保管・管理し、無償で公開する仕組みで近年、増加している。同社はこれを利用し使いやすいサービスを提供する狙いだ。

同社は米トムソン・ロイターと新日本法規出版の合弁会社。トムソンのオンラインテクノロジー

の判例に対する解説が記載されている専門誌・論文が示されているが、実際には図書館などで印刷物を探さないと内容が確認できなかった。今回は

と、新日本法規の法律・判例情報や出版コンテンツを融合したサービスを手がけている。